

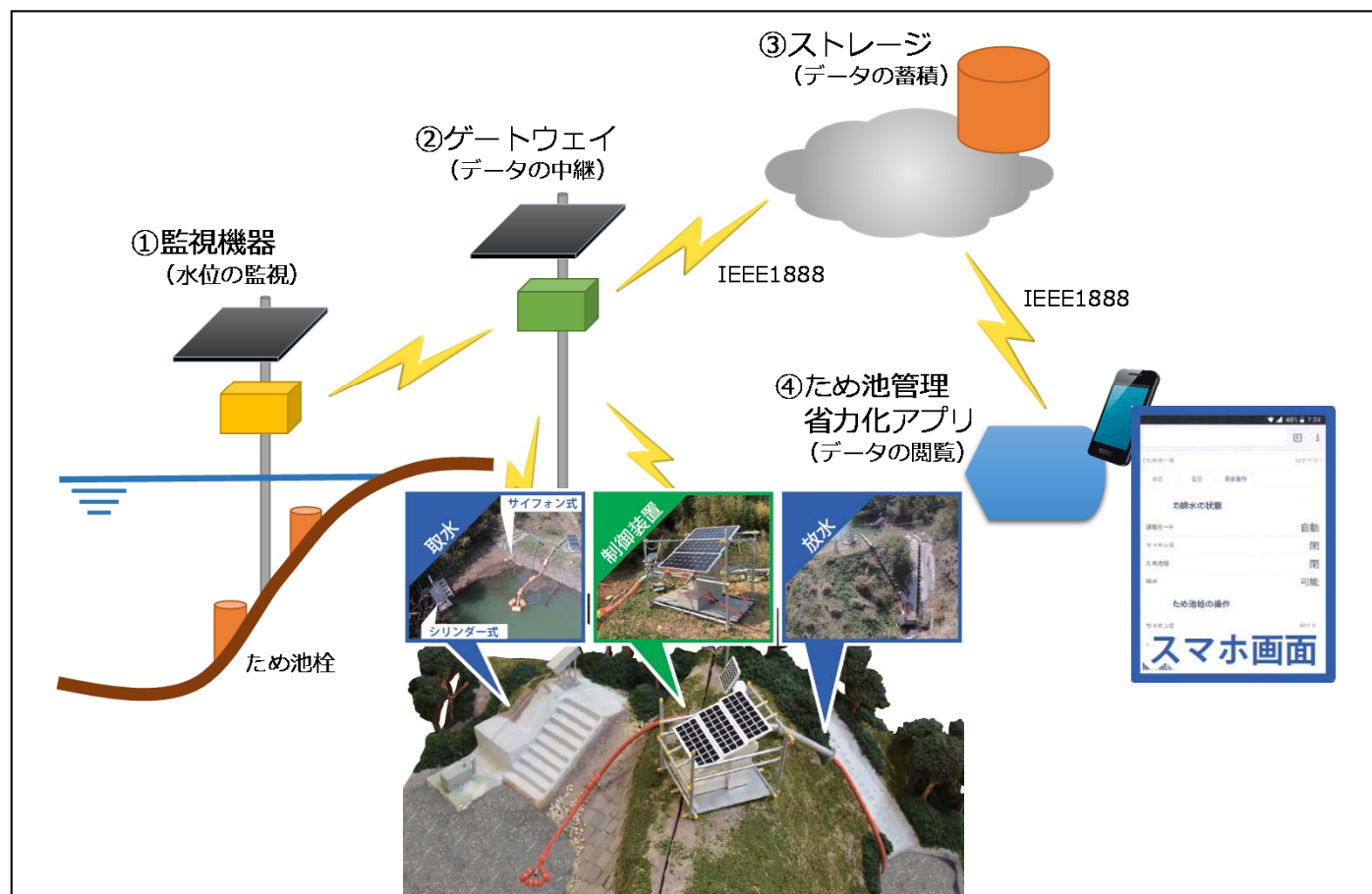
ため池管理省力化システムの開発

■研究の概要

県内に存在する小規模未改修ため池の管理を省力化する技術として、「低コストな遠隔管理」と「定水位における自動排水」の確立を目指し、組込システム技術分科会と山口県農林総合技術センターで仕様検討を行いました。また、県内複数企業との連携により『ため池管理省力化システム』を開発し、現地実証を行いました。

■研究の項目

- ①国際標準規格IEEE1888に準拠した『ため池管理省力化システム（IoTシステム）』の開発
- ②ため池の改修を必要としない排水機構の開発



■研究の成果

- ①既存のため池栓を開閉するシリンダー方式と常設サイフォン方式の排水機構を開発しました。
- ②遠隔からの水位監視と排水制御が行える『ため池管理省力化システム』を開発しました。
- ③本製品を「2018 NEW 環境展」に出展しました。